

脱炭素対策 はやっぱり (カーボンニュートラル)

自家消費型 太陽光発電

再生可能エネルギー割合36~38%で最終調整 2030年度目標 政府
2021年7月15日 日本経済新聞

トヨタ 供給網で脱炭素主導 3%減を部品会社に要請
2021年6月3日 日本経済新聞



補助金活用

申請期限あり!!

設備容量150kWシステム導入イメージ

初期導入費用

25,500,000円

補助率

約24%(6,100,000円)

実質負担額

19,400,000円

年間CO2削減量

73.26t

年間経済効果額

2,640,000円

単純投資回収

8.3年

太陽光電力単価

7.8円

<諸条件>
屋根:折板、水勾配、1,500㎡
年間発電量:設備容量×1,100kWh
購入電気料金単価:16円
自家消費率:100%
ランニングコスト:2,500千円
機器使用期間:17年間
※太陽光電力単価及びランニングコストに反映
<注意点>
飽くまで概算イメージとなります。
実際の数字は事業者様の建物、電気使用状況により変動しますので、裏面の無料導入試算をお勧め致します。

推奨導入プロセス

導入プロセス	2021年			2022年								
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
【検討期間】 ①概要説明 ②無料導入効果試算 ③現地調査 ④システム決定												
【準備期間】 ①社内稟議 ②補助金申請準備												
【補助金対応期間】 ①公募申請 ②採択 ③交付申請 ④交付決定												
【システム導入期間】 ①契約発注 ②システム導入 ③支払い												
【補助金受領期間】 ①実績報告 ②補助金入金												

社内稟議及び補助金スケジュールを考慮すると
**2021年内のご検討を
お勧めします**

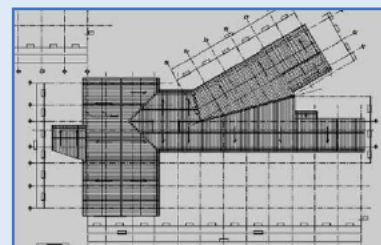
まずは無料導入効果試算

以下3点ご用意頂ければ「導入効果の試算」が可能です

①電気料金請求書
※直近1年間

②デマンドデータ
※Excel形式

③建物の図面
※平面図、立面図、矩計図



その他注意事項など

- 当資料に於ける補助事業は「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（ストレージパリティの達成に向けた太陽光発電設備等の価格低減促進事業）」を想定しております。
https://www.eic.or.jp/eic/topics/2021/r02_strp/001/
- 当該補助事業は令和6年度までの継続が示唆されておりますが、確定はしておりません。
- 補助金採択は執行団体の審査により決定致します。
- 設備内容や事業者様の状況などにより弊社で申請サポートをお請け出来ないケースもございます。
- 補助金申請に関する関係各社の対応区分は個別打ち合わせにより決定致します。
※お手伝い～コンサルティング（諸条件あり）まで幅広く対応出来ます
- 弊社では太陽光発電システム以外にも**V2H、空調制御機器、新電力提案、ガス提案**などBCPや経費削減に寄与する商品を取り揃えておりますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

問合せ

- 太陽光発電システムの取り扱い歴27年（1994年より販売開始）
- 累計販売・設置件数37,000件以上（公共・産業用案件も実績多数）
- 200年続く老舗グループによる長期信頼性（2011年鈴与グループ入り）

これらの経験と実績で培われたプロ集団が、皆様へ最適なお提案をお届け致します。

 **鈴与マタイ株式会社**
Suzuyo Group

環境エネルギー事業部
長野県佐久市中込1-10-1
TEL:0267-63-0001